

“組織開発”の本質を
理解し、推進する

Internal
Organization
Development

企業内

第10期

組織開発

推進者養成コース

2023.6.23
2024.2.2 2023

組織を変える

12days



Purpose

プログラムの目的

当本部では、2013年度“訪米組織開発調査団”を派遣し、米国における組織開発の実践と、それを支える人材育成について調査致しました。また、その調査報告において、**今後日本の組織においても、「組織開発に注力をしていく必要があること」、**そのためには**「組織開発の本質を理解し、企業内で組織開発を推進する人材が必要であること」**を提言致しました。

その提言を踏まえ、当本部では2014年度より本コースを開講し、特に組織内で“組織開発”を推進していく推進者を養成致しております。本コースでは、昨今注目を集めている「対話型組織開発」だけではなく、クライアント組織の診断を行う**「診断型組織開発」**や、具体的な**「働きかけの手法」**の体系的な学びとともに、修了生によるネットワークを構築し、**組織や立場を超えた情報交換の場**としていただいています。

今回ご参加の皆様には、コース開催期間中だけではなく、修了後も組織開発を推進する人材として活躍頂くとともに、本コースにおける学びを、自組織だけでなく**関西全体、日本全体を活性化する活動につなげて頂くことを期待**しています。

Outline

実施概要

開催方式

講義形式 および 実習(ワークショップ)形式

最終回にはプレゼンテーションを行います。
また、修了生による実践事例の紹介もあります。

対象者

企業内(労働組合を含む)で組織開発に関わる全ての方
組織内での展開のため、複数名での参加を歓迎します。
(2人目以降、参加費を20%割引きます。)

参加定員

24名(参加定員になり次第、受付を締め切ります。)
本コースは、組織内での推進者養成を目的としているため、コンサルタント業の方やフリーランスの方のご参加は、ご遠慮ください。

期間・日程

2023年6月～2024年2月
合宿2回(4日間)を含む12日間

参加費

賛助会員 304,900円(税込)
賛助会員とは、全国の生産性本部加盟の賛助会員を指します。
一般 363,000円(税込)

2人目以降
20%割引

お申し込みは、当本部ウェブサイトから
<https://www.kpcnet.or.jp/>



監修
講師
ファシリテーター

通称：かずさん/

中村和彦氏
Nakamura
Kazuhiko



南山大学 人文学部心理人間学科 教授
1964年生まれ。88年北海道教育大学旭川校卒業。95年名古屋大学大学院教育学研究科後期博士課程単位取得満期退学。

2005年度には米国NTL Instituteにて組織開発を学び、Organization Development Certificate Programを修了。NTL Institute メンバー。専門は組織開発、人間関係トレーニング、グループ・ダイナミックス。

著書に、『組織開発の探究 理論に学び、実践に活かす』(共著、ダイヤモンド社)、『入門 組織開発』(光文社新書)、『マンガでやさしくわかる組織開発』(日本能率協会マネジメントセンター)、他。翻訳に、『対話型組織開発 その理論的系譜と実践』。

Schedule スケジュール

1

6.23(金) 10:00-18:00

実習 お互いに知り合う
組織開発概論① 組織開発とは
実習 グループ実習

会場: 当本部会議室(対面開催)

2

7.6(木) 10:00-21:00

7.7(金) 9:00-18:00

組織開発概論② 対話型組織開発とは
実習 対話型組織開発
(AI: アプリシエティブ・インクワイアリー)
の体験

会場: クロスウェーブ梅田(合宿)

3

4

7.19(水) 10:00-18:00

組織開発概論③ コーチングとは
実習 コーチング
事例紹介 修了生による
組織開発の実践事例

会場: 当本部会議室(対面開催)

5

8.1(火) 10:00-18:00

組織開発概論④ グループプロセスとは
実習 グループプロセスの
観察実習(POPO)

会場: 当本部会議室(対面開催)

6

8.23(水) 10:00-18:00

組織開発概論⑤ プロセスに働きかける
ファシリテーション
実習 伴走型ファシリテーション

会場: 中之島インテス113(対面開催)

7

9.7(木) 10:00-21:00

8

9.8(金) 9:00-18:00

組織開発概論⑥ 診断型組織開発とは
実習 診断実習

※実際のクライアント組織に対して、診断型組織開発を実施します。クライアント組織の都合により、オンラインもしくはハイブリッド形式に変更となる場合があります。

会場: クロスウェーブ梅田(合宿)

9

10.5(木) 10:00-18:00

事例紹介 旭化成における
診断型組織開発の実践

[ゲスト]

旭化成株式会社

人事部 人財・組織開発室 室長 三橋明弘氏
人事部 人事室(スタッフ・研究開発領域) 課長 竹花晶氏

実習 ODプロジェクトの相互支援①

会場: 当本部会議室(対面開催)

10

11.2(水) 10:00-18:00

組織開発概論⑦ 組織開発の評価・
課題設定と課題解決の
ステップ~質問を通して

実習 ODプロジェクトの相互支援②

会場: 当本部会議室(対面開催)

11

12.7(木) 10:00-18:00

事例紹介 パナソニックにおける
組織開発の展開

[ゲスト]

パナソニック オペレーショナルエクセレンス
株式会社

組織・人材開発センター 組織開発推進室

前川督之氏 磯貝あずさ氏 戒能直美氏

実習 ワールドカフェ&
OST(オープンスペーステクノロジー)

組織開発概論⑧ 対話型組織開発の諸手法

会場: 中之島インテス113(対面開催)

12

2024.2.2(金) 10:00-18:00

「組織開発の実践報告とこの講座での学び」
参加者によるプレゼンテーションと総括

※コースで学んだことや、自組織での組織開発の実践について、参加者自らがプレゼンテーションを行い、全体総括を行う

会場: 当本部会議室(対面開催)



第10期の 実施・運営方法 について

本コースでは、第7期以降、講座修了生によるサポーター制度を導入し、講師・ファシリテーターである中村和彦先生（通称：かずさん）と共に各回のワークショップを担当してきましたが、第10期では、更にその方法を深化させ、**講師とサポーターが連携してコースの運営を行います。**

全12回の講座のうち、初回・最終回・診断実習（2日間）*を除く8日間の講座では、各回の冒頭（チェックイン・講義等）と終了時（振り返りとチェックアウト等）のみ、かずさんがオンラインで登壇し、当日のワークショップは、本コースのサポーターによって進行とファシリテーションを行います。（*初回・最終回・診断実習はかずさんも会場でフル参加されます。）

過去3年間は、新型コロナウイルス感染拡大にともない、全部もしくは一部の課程を、オンラインで開催致しましたが、**今期は、全て対面形式により開催**することと致します。（一部のゲストスピーカーは、オンラインで登壇となる可能性があります。）

特別ゲスト

旭化成株式会社

人事部 人財・組織開発室 室長

三橋 明弘氏

人事部 人事室(スタッフ・研究開発領域)課長

竹花 晶氏

パナソニック オペレーショナルエクセレンス社

組織・人材開発センター 組織開発推進室

前川督之氏 磯貝 あずさ氏 戒能 直美氏

運営サポーター

本講座の修了生の方（9名）に、講座の「運営サポーター」としてご協力を頂きます。

【第1期】株式会社JR西日本交通サービス 長谷川 勝洋氏
太陽工業株式会社 山本 淳氏

【第2期】西日本旅客鉄道株式会社 武田 善憲氏

【第3期】株式会社オービス総研 東村 奈緒美氏

【第4期】株式会社カネカ 山岸 直樹氏

【第5期】株式会社オービス総研 喜多村 貴子氏
シスメックス株式会社 横山 光士氏

【第7期】医療法人 hi-mex 徳永 雅之氏

【第8期】株式会社村田製作所 古部 祐子氏



修了生同士のつながりが生まれるのも大きなメリット

参加者の声

私たちの取組みの推進力となっています

これまで何故上手くいかないかわからないまま多くの失敗を重ねてきましたが、このコースで、組織に対する働きかけや、働く人の感情を大事にすることを納得いく形で学びました。先生方の教えと同期のメンバーとの情報交換は、私たちの取組みの推進力となっています。（運輸業・組織開発部門）

会社・部署ごとに違ったアプローチを学べた

労働組合の役割として、職場の課題に対応していくことが求められている中、会社・部署ごとに違ったアプローチにより、いかに働きかけていくかについて学ぶことができた。参加者との連帯感、継続的な情報交換ができる関係性が創れたことにも感謝。（労組役員）

変革者たちが支え合い、日本企業を良くしていく

社内では孤独な変革者たちが社外の盟友同志として支えあい、日本の企業を良くしていく活動に取り組めるこのコースは、時間をかけて粘り強く推進していく各社の組織開発にとって有効であると感じています。（サービス業・全社風土改革担当）

理論を学び、事例を知り、議論をする

理論を学び、事例を知り、他社のメンバーと議論することで、自社での取り組みの質が向上したと思います。また、同じ志を持った皆さんの仲間に恵まれたことは大きな財産であり、強みになりました。（メーカー・経営企画部門）

お申し込みは、当本部ウェブサイトから
<https://www.kpcnet.or.jp/>

関西生産性本部 ODコース

検索



事務局

KPC 公益財団法人 関西生産性本部
KANSAI PRODUCTIVITY CENTER

公益財団法人 関西生産性本部 組織部(担当:堀越・西村)
〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階
電話 06-6444-6461 FAX 06-6444-6450
e-mail hh1214@kpcnet.or.jp(堀越)